

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート  
【作成基準日】 2025年 6月 30日  
【作成日】 2025年 7月 15日

## 運用状況 (2025年 6月 30日現在)

ファンド設定日: 2017年 2月 17日

日経新聞掲載名: USバイオ



※グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。  
※基準価額は信託報酬及び成功報酬控除後です。信託報酬及び成功報酬については後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

### <パフォーマンス・サマリー>

	2017年			2018年			2019年			2020年			年間
	上期*	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>10.39%</b>	<b>26.81%</b>	<b>39.99%</b>	<b>9.89%</b>	<b>-30.79%</b>	<b>-23.94%</b>	<b>18.40%</b>	<b>3.89%</b>	<b>23.00%</b>	<b>1.21%</b>	<b>37.90%</b>	<b>39.56%</b>	
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	12.21%	25.62%	40.96%	6.76%	-27.63%	-22.73%	23.71%	21.44%	50.24%	7.68%	36.15%	46.60%	
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	1.83%	13.18%	15.25%	-0.18%	-7.09%	-7.26%	15.31%	13.70%	31.11%	-6.39%	18.23%	10.67%	
	2021年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>-2.48%</b>	<b>-2.51%</b>	<b>-9.24%</b>	<b>1.77%</b>	<b>-4.80%</b>	<b>2.16%</b>	<b>-8.53%</b>	<b>3.68%</b>	<b>-8.77%</b>	<b>1.47%</b>	<b>-9.81%</b>	<b>-2.57%</b>	<b>-34.12%</b>
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	4.02%	-0.22%	-9.94%	3.42%	-9.34%	11.82%	-8.98%	0.94%	-5.09%	2.85%	-11.16%	-1.79%	-23.31%
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	2.69%	2.97%	7.86%	4.77%	0.74%	2.96%	2.05%	3.00%	-1.86%	7.17%	1.51%	4.21%	44.96%
	2022年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>-24.98%</b>	<b>2.52%</b>	<b>4.00%</b>	<b>-13.55%</b>	<b>-15.24%</b>	<b>10.39%</b>	<b>5.21%</b>	<b>4.40%</b>	<b>-0.60%</b>	<b>6.78%</b>	<b>-12.15%</b>	<b>-6.57%</b>	<b>-38.09%</b>
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	-24.88%	1.78%	6.10%	-14.66%	-6.87%	13.24%	9.36%	7.57%	3.20%	6.63%	-10.25%	-1.67%	-16.60%
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	-7.11%	-0.83%	11.33%	-4.21%	-0.94%	-1.96%	5.14%	0.97%	-4.45%	9.82%	-4.80%	-6.91%	-5.81%
	2023年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>0.35%</b>	<b>0.60%</b>	<b>-4.65%</b>	<b>9.48%</b>	<b>4.23%</b>	<b>4.59%</b>	<b>1.26%</b>	<b>-0.88%</b>	<b>-3.08%</b>	<b>-11.43%</b>	<b>2.94%</b>	<b>27.98%</b>	<b>30.40%</b>
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	2.26%	1.15%	-9.32%	12.77%	8.19%	4.01%	0.25%	-2.76%	-7.67%	-14.32%	9.62%	25.02%	25.79%
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	2.73%	3.74%	-0.20%	2.64%	6.16%	8.60%	1.43%	2.35%	-2.44%	-3.04%	7.61%	1.51%	35.02%
	2024年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>4.28%</b>	<b>7.70%</b>	<b>-3.60%</b>	<b>-11.39%</b>	<b>-2.44%</b>	<b>2.40%</b>	<b>3.95%</b>	<b>-4.66%</b>	<b>-1.43%</b>	<b>5.13%</b>	<b>-0.84%</b>	<b>-7.46%</b>	<b>-9.68%</b>
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	0.69%	15.15%	-4.99%	-7.22%	4.15%	6.26%	4.09%	-4.26%	-1.63%	8.75%	1.56%	-6.39%	14.64%
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	7.21%	5.26%	4.29%	0.98%	2.37%	7.74%	-6.08%	-2.16%	1.27%	9.15%	1.37%	4.57%	41.14%
	2025年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>-4.24%</b>	<b>-10.98%</b>	<b>-5.45%</b>	<b>-8.97%</b>	<b>-0.36%</b>	<b>8.96%</b>							<b>-20.34%</b>
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	-0.21%	-11.13%	-1.28%	-8.11%	-5.91%	7.19%							-18.87%
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	-0.65%	-6.32%	-4.76%	-4.91%	7.43%	5.22%							-4.72%
	過去1年	過去3年	過去5年	設定来	設定来 年率								
<b>USバイオ・ベンチャー</b>	<b>-24.92%</b>	<b>-10.22%</b>	<b>-47.24%</b>	<b>-30.06%</b>	<b>-4.18%</b>								
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	-17.77%	33.66%	1.88%	79.50%	7.24%								
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	2.59%	79.25%	193.13%	284.52%	17.45%								

\*設定日 2017年 2月 17日 から計測しております。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2025年 6月 30日

【作成日】 2025年 7月 15日

## <基準価額・純資産総額>

	当月末	前月比
基準価額(円)	6,994	+575
純資産総額(百万円)	614	+34

	当月末
ハイ・ウォーター・マーク(円)	20,102

※基準価額は 10,000 口当たりの金額です。  
 ※基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えて上昇した場合、成功報酬がかかります。詳しくは、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## <基準価額の変動要因(円)>

	当月
株式等	+542
為替	+45
分配金	0
その他(信託報酬等)	-12
合計	+575

※基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

## <資産構成比(%)>

	当月末	前月比
株式等	99.6	-0.2
現金等	0.4	0.2
合計	100.0	0.0

※株式等の構成比はマザーファンドの組入れ比率です。

## <騰落率(税引前分配金再投資)(%)>

	基準日	ファンド
1ヶ月	2025/5/30	+9.0
3ヶ月	2025/3/31	-1.2
6ヶ月	2024/12/30	-20.3
1年	2024/6/28	-24.9
3年	2022/6/30	-10.2
5年	2020/6/30	-47.2
設定来	2017/2/17	-30.1

※ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。  
 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## <最近の分配実績(税引前)(円)>

期	決算日	分配金
第4期	2021/2/9	0
第5期	2022/2/9	0
第6期	2023/2/9	0
第7期	2024/2/9	0
第8期	2025/2/10	0
設定来累計		0

※分配金は 10,000 口当たりの金額です。表は過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

※分配金額は、決算日に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

※この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は金額の場合は切り捨て、それ以外の数値は四捨五入して表示しています。  
 ※この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を 100%として計算した値です。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート  
【作成基準日】 2025年 6月 30日  
【作成日】 2025年 7月 15日

## マザーファンドのポートフォリオ状況 (現地 2025年 6月 27日現在)

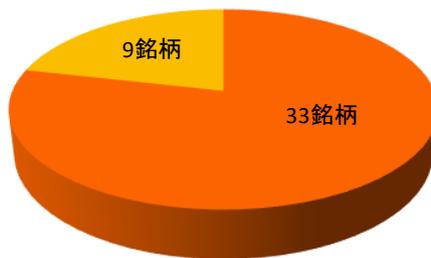
株式組入れ比率	組入れ銘柄数
96.6%	43銘柄

※ 株式組入れ比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

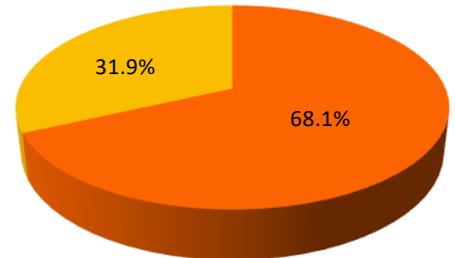
サイズ	時価総額
小型	50億ドル未満
中型	50億ドル以上～250億ドル未満
大型	250億ドル以上

### <時価総額別配分>

銘柄数分布

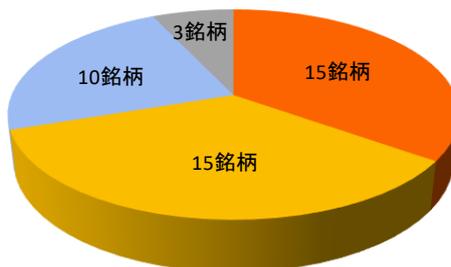


ウェイト別分布

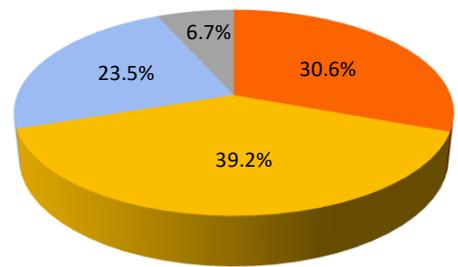


### <開発領域別配分>

銘柄数分布



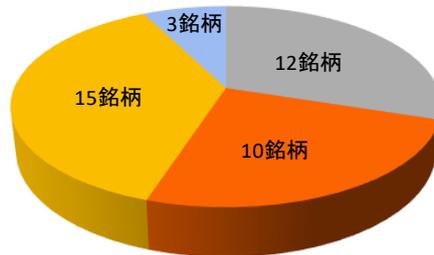
ウェイト別分布



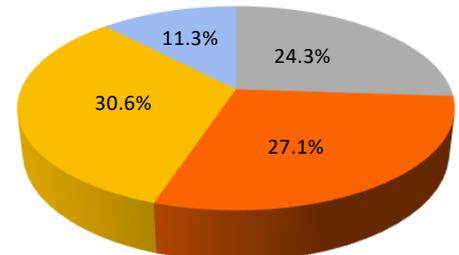
開発領域	疾患例
がん	血液がん、固形がん
希少疾患	ファブリー病等
総合疾患	循環器系・代謝系疾患、眼疾患等
感染症	B型・C型肝炎等
美容・形成	白髪、しみ・しわ等
神経・精神系	てんかん、アルツハイマー等
医療機器・サービス	—

### <医薬品開発ステージ別配分>

銘柄数分布



ウェイト別分布



ステージ	薬品の開発状況
フェーズ0	プレクリニカル・フェーズ (人体での臨床試験開始前段階)
フェーズ1	臨床試験 (安全性テスト)
フェーズ2	臨床試験 (患者への効能テスト)
フェーズ3	臨床試験 (市販薬の形で主試験)
フェーズ4	認可取得後の追加調査

- ※ <時価総額別配分> <開発領域別配分> <医薬品開発ステージ別配分> の配分比率は、組入れ銘柄の月末時点残高合計に対する比率です。各比率は四捨五入しており合計が 100% とならない場合があります。
- ※ <時価総額別配分> には、フロントのみ保有している銘柄は反映されていません。
- ※ <開発領域別配分> は、各企業の主力、あるいは最も有望とみられる医薬品、医療機器・サービスについて、ピクトリー・キャピタル・マネジメント社が四半期毎に各企業の開発領域を分類しています。
- ※ <医薬品開発ステージ別配分> は、開発中及び販売中の主要医薬品のステージに基づき、ピクトリー・キャピタル・マネジメント社が四半期毎に各企業の開発ステージを分類しています。なお、医療機器・サービス関連銘柄は反映されておらず、合計が 100% とならない場合があります。
- ※ フェーズ情報は各社の主力医薬品、あるいは最も有望とみられる医薬品のフェーズにより表しています。上記の「フェーズ」とは FDA(食品医薬品局)の医薬品の新薬認可プロセスにおける審査ステージを指します。フェーズ 0 には、開発候補の医薬品等が定まっていない企業、フェーズ 4 にはフェーズ 3 までの臨床試験を終えて医薬品が上市し、追加調査を行っていない企業を含む場合があります。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート  
 【作成基準日】 2025年 6月 30日  
 【作成日】 2025年 7月 15日

## <組入れ上位 10 銘柄>

順位	銘柄名	概要	時価総額 (億ドル)	組入れ 比率
1	インスメッド	気管支拡張症(感染症や免疫異常等が原因となって気管支が非可逆的に拡張する疾患)に対する世界初の治療薬を開発。	188.7	8.9%
2	アボジー・セラピューティクス	アトピー性皮膚炎や慢性閉塞性肺疾患といった免疫異常によって引き起こされる疾患の治療薬を開発。	25.8	5.6%
3	ブリッジバイオ・ファーマ	モリブデン補酵素欠損症(尿路結石や腎障害を引き起こす遺伝子疾患)やトランスサイレチン型心アミロイドーシス(繊維状の異常たんぱく質が心臓に沈着し機能低下を引き起こす疾患)の治療薬を開発。	85.2	5.4%
4	レボリューション・メディシンス	がん細胞の増殖を引き起こすRASたんぱく質(細胞の成長や増殖に関与するたんぱく質の一種)の異常に対する阻害剤「RMC-4630」等を開発。	68.8	5.1%
5	ディスク・メディシン	赤芽球増殖性プロトポルフィリン症(ヘモグロビン等の働きに関係するヘムの産生に必要な酵素が欠損することで生じる疾患)に対する世界初の治療薬を開発。	18.9	4.4%
6	アーセルクス	多発性骨髄腫等のがん治療に向けてCAR-T療法(T細胞に遺伝子改変を行いがん細胞への攻撃性を高める治療法)等を開発。	36.0	4.4%
7	クリネティックス・ファーマシューティカルズ	内分泌疾患(ホルモンの分泌異常により生じる疾患)及び内分泌腫瘍の治療薬を開発。	28.1	3.8%
8	オリック・ファーマシューティカルズ	がん細胞の治療抵抗性(徐々に薬剤の効果が減弱していく状態)に着目し様々ながんに対する治療薬を開発。	8.8	3.5%
9	アナプティスバイオ	関節リウマチや潰瘍性大腸炎(大腸の粘膜に炎症や潰瘍ができる希少疾患)といった炎症性疾患に対する治療薬を開発。	6.6	3.4%
10	ヌーバレント	がん細胞を成長及び増殖させるキナーゼ(リン酸化酵素)を標的とした次世代低分子阻害薬を開発。	57.2	3.1%

※ マザーファンドのポートフォリオ状況は、ビクトリー・キャピタル・マネジメント社及びブルームバーグの数値等を基にバイビュー・アセット・マネジメント社が作成しています。  
 ※ <組入れ上位 10 銘柄>において、組入れ比率はマザーファンドの純資産を基に算出しています。上記は、当ファンドの将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドにおいて<組入れ上位 10 銘柄>記載の銘柄をはじめ、上記銘柄の保有を今後も継続するとは限りません。また上記銘柄の推奨を目的とするものではありません。

## ご参考情報

### <主な米国株価指数の推移 (米ドルベース) >



当月騰落率:  
 S&P500(配当込み) 4.54%  
 ラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー\* 6.49%

\* ラッセル 2000 グロス指数バイオテクノロジー・サブセクターを指します。

### <為替 (円/米ドル) 推移>



当月末: 144.81円  
 前月末: 143.87円  
 当月騰落率: 0.65%

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2025年 6月 30日

【作成日】 2025年 7月 15日

## ファンド・マネージャー・コメント

### <市場動向>

6月の米国株式市場(現地5月30日～6月27日)は上昇しました。上旬は、5月雇用統計が労働市場の底堅さを示したことから景気減速への警戒感が和らぎ、株式市場は値を上げます。中旬には、イスラエルがイランに対し先制攻撃したことを受け地政学リスクが高まり、上値の重い展開となりました。しかし下旬に入ると、米国の介入もあってイスラエル及びイラン両国が停戦合意に至ったことからリスクオンの様相となり、株式市場は上昇しています。小型バイオ株については、長期金利の高止まりやFDA(食品医薬品局)人事等の逆風を受け昨年末以降は低調な推移が続いていましたが、当月は仏製薬大手サノフィ(Sanofi)によるブループリント・メディシズ(Blueprint Medicines)の買収発表を契機に、製薬業界におけるM&Aの活発化が意識され一段高となりました。最終的に前月末(現地5月29日)比で、S&P500指数(配当込み、ドルベース)は+4.54%、ラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクター(ドルベース)は+6.49%でした。尚、為替は0.7%の円安ドル高となり、S&P500指数(配当込み、円ベース)は+5.22%、ラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)は+7.19%となっています。

### <運用概況>

当ファンドの基準価額は、信託報酬及び成功報酬控除後ベースで前月末比+8.96%でした。当ファンドは、上位保有銘柄のパフォーマンスが好調だったことからラッセル2000グロス指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)にアウトパフォームしています。

具体的な個別銘柄動向については、肺動脈性肺高血圧症治療薬のフェーズ2臨床試験で主要評価項目を達成した他、大手製薬会社の有力な買収ターゲットとして注目を集めたインスメッド(Insmed)が月間+44%と上昇しました。また、トランスサイレチン型心アミロイドーシス(アミロイドと呼ばれる繊維状の異常たんぱく質が心臓に沈着することで心機能の低下を引き起こす疾患)に対する治療薬「Attruby」の売上拡大が期待されたブリッジバイオ・ファーマ(Bridgebio Pharma)が同+34%、赤芽球増殖性プロトポルフィリン症(ヘモグロビン等の働きに関係するヘムの産生に必須な酵素が欠損することで生じる疾患)を対象とする治療薬「bitopertin」の迅速承認申請を2025年後半に予定しているディスク・メディシン(Disc Medicine)、及びアトピー性皮膚炎治療薬「APG777」のフェーズ2臨床試験データの発表を翌月に控えるアポジー・セラピューティクス(Apogee Therapeutics)が、いずれも承認取得や新薬開発の進展に対する期待感から買い優勢となり各々同+16%、+15%と値を上げパフォーマンスに貢献しています。

他方、デュシェンヌ型筋ジストロフィー(進行性の筋力低下や筋の変形及び萎縮を特徴とする遺伝性筋疾患)に対する治療薬「ELEVIDYS」の重篤な副作用が確認され出荷停止の措置をとったサレプタ・セラピューティクス(Sarepta Therapeutics)が売却日までに-55%、FDAとの協議を経て筋強直性ジストロフィー1型(筋肉の硬直や筋力低下、内臓の機能障害等の症状を引き起こす遺伝性筋疾患)治療薬「DYNE-101」の迅速承認申請を延期したダイネ・セラピューティクス(Dyne Therapeutics)が月間-22%と下落しました。

当月は、様々ながんに有効な主力医薬品「Cabometyx」の売上が好調なことに加え、複数の有望な新薬パイプラインを有する等、長期的な事業拡大が見込まれるエクセリクス(Exelixis)に新規で投資しています。

これに対し、大手製薬会社による買収提案に合意したスプリングワークス・セラピューティクス(SpringWorks Therapeutics)及びレグルス・セラピューティクス(Regulus Therapeutics)、上述のサレプタ・セラピューティクスを売却しました。

結果、当月末(現地6月27日)時点の組入れ銘柄数は、43銘柄(前月末45銘柄)となっています。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート  
【作成基準日】 2025年 6月 30日  
【作成日】 2025年 7月 15日

## <市場見通し及び今後の運用方針>

6月の仏製薬大手サノフィによるブループリント・メディシンスの買収は、ジョンソン・エンド・ジョンソン(Johnson & Johnson)が年初に発表した総額146億ドルでのイントラセルラー・セラピーズ(Intra-Cellular Therapies)の買収に続く、大型案件として注目を集めました。これらは、パテント・クリフ(特許の崖:主力医薬品の特許切れに伴う売上高の減少)に備えて大手製薬企業が新たな収益の柱を確保すべく活発に動いている証左とも言えるでしょう。前述したスプリングワークス・セラピューティクスを買収をはじめ2025年は既に複数の大型案件が開示されており、年初からの半年間で発表された製薬業界における買収金額の合計は、早くも2024年の通年実績に匹敵する水準に達しています。当ファンドは、大手製薬会社の求めるブロックバスター(年間売上高が10億ドルを超える大型医薬品)候補を販売している、或いはその開発がおおむね終盤に差し掛かっている企業群に積極投資しており、製薬業界におけるM&A活動が活況となることに期待しています。

また、これまで製薬業界に敵対的とみられる発言や姿勢を取ってきたケネディHHS(保健福祉省)長官が、6月に入り希少疾患治療薬の承認手続きを迅速化するとともに、販売に至るまでの障害を取り除く方法を模索すると発言しました。これは、バイオテクノロジー分野でトップを走る米国、そして希少疾患や依然として治療法の確立されていない疾患領域に取り組む企業の保有が多い当ファンドにとって追い風になるとみています。具体的には、前述したインスメッドやブリッジバイオ・ファーマ、アポジー・セラピューティクスに加え、ビリジアン・セラピューティクス(Viridian Therapeutics)、ウルトラジェニックス・ファーマシューティカル(Ultragenyx Pharmaceutical)、クリスタル・バイオテック(Krystal Biotech)等が恩恵を受けられると予想しています。

## <当ファンド保有上位銘柄の注目ポイント>

インスメッド	2025年に気管支拡張症(感染症や免疫異常等が原因となって気管支が非可逆的に拡張する疾患)に対する世界初の治療薬「Brensocatib」の新薬承認を受領予定。
アポジー・セラピューティクス	2025年後半にアトピー性皮膚炎治療薬「APG777」のフェーズ2臨床試験データを発表予定。
ブリッジバイオ・ファーマ	2024年11月に新薬承認を受領したトランスサイレチン型心アミロイドーシス(繊維状の異常たんぱく質が心臓に沈着し機能低下を引き起こす疾患)に対する治療薬「Attruby」の売上高成長。
レボリューション・メディシンス	2024年に開始したRASたんぱく質の異常に対する阻害剤「RMC-6236」のフェーズ3臨床試験の進捗。
ディスク・メディシン	2025年に赤芽球増殖性プロトポルフィリン症(ヘモグロビン等の働きに関係するヘムの産生に必須な酵素が欠損することで生じる疾患)の治療薬「Bitopertin」の新薬承認を受領予定。
アーセルクス	多発性骨髄腫治療に向けたCAR-T療法「Anito-cel」のフェーズ3臨床試験が進行中。
クリネティックス・ファーマシューティカルズ	2025年にクッシング病(副腎皮質ステロイドホルモンの過剰分泌により顔や体幹に脂肪が沈着する疾患)に対する治療薬「atumelnant」のフェーズ2臨床試験データを発表予定。
オリック・ファーマシューティカルズ	2026年前半に固形がん治療薬「ORIC-114」のフェーズ3臨床試験を開始予定。
アナプティスバイオ	2025年後半に潰瘍性大腸炎に対する治療薬「Rosnilimab」のフェーズ2臨床試験データを発表予定。
ヌーバレント	非小細胞肺癌に対する治療薬「NVL-520」のフェーズ2臨床試験が進行中。

※上記の表は、ピクトリー・キャピタル・マネジメント社の見解および各企業の公開情報を基にバイビュー・アセット・マネジメント社が作成しています。上記の内容は各企業の開発状況等によって大きく変わる可能性があり、当ファンドの将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート  
【作成基準日】 2025年 6月 30日  
【作成日】 2025年 7月 15日

## ファンドの特色

### 1. 中長期的に高成長が期待される、米国の中小型バイオ関連企業の株式へ主に投資を行います。

- 米国の金融商品取引所に上場する、バイオ医薬品を開発する企業、及びバイオ医療に関連する企業の株式\*に投資を行います。  
組入銘柄数は、40～70 銘柄程度を目処とします。
- 実質組入れ外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。  
但し、市況急変時の対応として、またはファンドの資金動向や投資環境等によって、そうした運用ができない場合、もしくは運用者の判断でそうした運用を行わない場合があります。

\* 株式には、預託証書 (DR) を含みます。預託証書 (DR) とは、Depository Receipt の略で、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所で取引されます。

### 2. ビクトリー・キャピタル・マネジメント社傘下で、米国中小型成長株式運用について専門的なノウハウを有する RS インベストメンツのグロース・チームが実質的な運用を行います。

- 当ファンドはファミリー・ファンド方式で運用を行い、マザーファンドの運用はビクトリー・キャピタル・マネジメント社に運用の指図に関する権限を委託します。
- RS インベストメンツのグロース・チームは、米国ベンチャー企業の聖地、シリコンバレーを臨むサンフランシスコを拠点とし、徹底したファンダメンタルズ分析と企業訪問によるボトムアップリサーチに基づき、時代を画するイノベーション企業の発掘に努めています。

### 3. 当ファンドは 2018 年 2 月 16 日で購入の申込期間を終了しております。尚、換金は月 2 回申込みを受け付けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2025年 6月 30日

【作成日】 2025年 7月 15日

## ファンドのリスクおよび留意点

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式等の値動きのある有価証券に投資し、有価証券先物取引等を活用することがありますので、ファンドの基準価額は変動します。

従って、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの主要なリスクには以下のものがあります。

### ■ 株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

### ■ 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価値変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。なお、当ファンドにおいて、外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行いません。そのため、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

### ■ カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。

### ■ 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

### ■ 流動性リスク

大量の換金があった場合、換金代金を手当てするため保有有価証券を売却しなければならないことがあり、その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。当ファンドはマザーファンドの受益証券への投資を通じて運用を行いますので、同じマザーファンドに投資するベビーファンドに追加設定・換金等に伴う資金変動があり、その結果マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響が及ぶ場合があります。

### ■ その他の留意事項（システムリスク・市場リスク等に関する事項）

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事等の諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスク等もあります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2025年 6月 30日

【作成日】 2025年 7月 15日

## お申し込みメモ

購入単位	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
購入価額	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
換金単位	販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から0.3%（信託財産留保額）を控除した額 ・毎月1日および15日（1日および15日が、日本の銀行、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日の場合は、翌日以降の日本の銀行、ニューヨーク証券取引所およびニューヨークの銀行のいずれかが営業日である日）を換金申込受付日とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
購入の申込期間	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
申込締切時間	原則として午後3時30分までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。 なお、販売会社によっては異なる場合があります。
信託期間	2027年2月9日まで(2017年2月17日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権口数が10億口を下回った場合 ・信託契約を解約することが、受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年2月9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。但し分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。 ※販売会社との契約に基づき「累積投資コース」を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度の適用対象となります。 税金の取り扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ファンドの費用

### ① 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、 <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

### ② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の信託財産の純資産総額に対して <b>年率2.145%(税抜1.95%)</b> を乗じて得た額とします。
成功報酬	ハイ・ウォーター・マーク超過分の <b>11.0%(税抜10%)</b> ※ハイ・ウォーター・マークについては、後述のご参考をご参照下さい。
その他の費用 手数料	監査費用ならびに組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料を信託財産でご負担いただきます。 これらの費用は、運用状況等により変動する為、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ファンドの費用（手数料等）の合計額、その他上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

※購入・解約単位および購入時手数料については、販売会社が別に定める場合はこの限りではありません。

# US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート  
【作成基準日】 2025年 6月 30日  
【作成日】 2025年 7月 15日

## (ご参考)ハイ・ウォーター・マークについて

- (1) 設定日：10,000円 (1万口当たり)
  - (2) 設定日以降：成功報酬控除前基準価額が、その時点のハイ・ウォーター・マークを上回った場合は、翌営業日以降のハイ・ウォーター・マークは、成功報酬控除後基準価額に変更されます。ただし、ハイ・ウォーター・マークが変更されない場合においても、決算時に収益分配が行われた場合には、ハイ・ウォーター・マークは収益分配金額を控除したものに調整されるものとします。
- ◆ **成功報酬の留意点**
- 毎日公表される基準価額は、成功報酬控除後の価額です。従って、換金される際に、換金時の基準価額からさらに成功報酬が差し引かれるものではありません。
  - 成功報酬は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および計算期末ごとにファンドから支払われますが、この場合も成功報酬は既に費用計上されていますので、更に成功報酬が差し引かれるものではありません。

**委託会社、その他の関係法人** 当ファンドは、2018年2月16日で購入の申込期間を終了しています。

【委託会社】 ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図等を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第397号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【受託会社】 三井住友信託銀行株式会社 (ファンドの財産の保管および管理を行います。)

【販売会社】 SMBC日興証券株式会社 (ファンドの募集の取扱い及び解約のお申込の受付等を行います。)

ほくほくTT証券株式会社 (ファンドの募集の取扱い及び解約のお申込の受付等を行います。)

**販売会社** 当ファンドは、2018年2月16日で購入の申込期間を終了しています。

販売会社名	登録番号等	加入協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2251号	日本証券業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第24号	日本証券業協会

## 本資料にかかる留意事項

- 当資料は「US バイオ・ベンチャー (限定追加型)」のポートフォリオの状況および今後の運用方針等について投資家のみなさまにご理解を深めていただくことを目的にベイビュー・アセット・マネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。当資料は信頼性が高いとみならず情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではなく、当資料に記載された情報を使用することによりお客様または第三者が被った損害等を補償するものではありません。
- 当資料に記載された内容は表記時点でのものであり、将来変更されることがあります。
- 当資料で示した運用実績は過去のものであり、将来の運用成果をお約束するものではありません。